

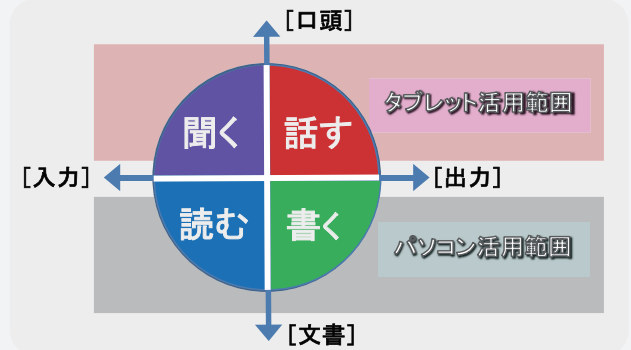
通信・IT ネットワークの分野では、日々新しい技術が開発され、より効率的で、より安価なサービスが次々と生み出されています。知らないことは、イコール企業利益の損失です。そこで私たち大和電設工業は、情報通信やITソリューションの『知って得する最新情報』を、お世話になっている皆様に定期的にお伝えしていきます。隔月発行のDDK通信、ぜひお楽しみください。

失敗しないタブレット端末のビジネス活用

■ タブレット端末の活用のしかた

ビジネスツールとしてのパソコンの場合は、「書いたり」、「読んだり」する為のツールとして使われてきました。一方、タブレット端末は、「聞いたり」、「話したり」する為のツールとして活躍する事に非常にむいています。

パソコンとは違う視点で活用方法を考えて見ると、案外とビジネスツールとして活用する事ができます。



■パソコンとタブレット端末の活躍分担の図

■ 「話す」と言う事

Twitter、Facebook に代表される様な SNS（ソーシャルネットワーク）とビジネス業務を上手く連携させて、コミュニケーションを活発化させるためのツールとして利用する事が考えられます。外出先でも容易に打ち合わせを行ったり、サポートセンターとつないで商品の操作方法を動画で支援してもらう。さらに、分からない事を社内 SNS を使って質問するなどの活用方法で、スピード化を図り業績に直結させている企業もあります。

■ 「聞く」と言う事

商品説明に色々な角度から撮ったビデオなどの動画を使う事により、お客様の理解をカタログによる説明よりも深めて頂く効果が期待できます。これは若年の営業マンでも先輩営業マンと同じような営業力を発揮できる可能性が有ると言う事です。また、医療情報担当者やコンサル会社などでは、医師や企業からアンケートやヒアリングで集めた情報をリアルタイムに収集し、鮮度の高い情報として活用している事例があります。



○ 営業先で急なお客様の要望にもその場で対応できるので、商談スピードアップにつながります



○ 工事現場でも必要な図面がすべてタブレット端末に入っているので直ぐに打ち合わせができます

■ 電話とタブレット

電話機とタブレット端末のドッキング

外出先から戻ってきて、カバンから取り出したタブレット端末を机の上の電話機にドッキングさせる。タブレット内のアドレス帳から電話番号をクリックして電話を掛ける・・・

ちょっと夢の様ですが、NEC ではすでに米国で実用化し活用されています。日本での早期の販売が待たれます。

